令和6年度 学校関係者評価結果

学校名

鹿島小学校

校長名

中薗 千寿

番号事項 評価項目					員による自己評価	学校関係者評価委員による評価(集約)		
笛ク	争员		評定(数値平		対策・改善点	評定(数値平均)	主な意見	
1	(1)	校長の学校経 営方針等が保護 者や地域に伝 わっている。	段階 人数 平 A 2 B 3 C	<u>平均</u> . 4	保護者に話をする内容や学校だよりの内容に、学校経営方針を盛り込むようにしてい	段階 人数 平均 A 13 B 6 C 3.7	・学校要覧、校長先生の説明から伝わっている。 ・学校だより等で伝わっている。 ・地域の方と交流を図り、地域	
		望ましい子供の姿(知・徳・体)	D 段階 人数 平 A 2		望ましい子供像を明確に示し、実態を基に	D 段階 人数 平均 A 13	に伝わりやすい環境作りをされている。 ・学校要覧の説明から伺える。	
2	(1)	に向かって数値的 目標を設定し改善 に向けて努力して いる。	D	. 2	数値目標、実践事項を 設定し、取組を進めて いく。	B 6 C 3.7	・作品応募も積極的に行うなど努力の跡が見られる。	
3	(2)	子供たちは、 「学校が楽しい」 と感じ、生き生き と学校生活を送っ ている。	D	. 4	学校行事等で教師は 裏方に徹し、高学年児 童を中心とした子ども 主体の活動を展開する ようにしていく。	段階 人数 平均 A 10 B 9 C 0	・学校だより、学校参観、学校 行事等から伺える。 ・鹿島ならではのイベントがあ り、楽しそうである。 ・活動報告からも楽しく学校生 活を送っているように感じる。	
4		いじめや不登校 など生徒指導上の 課題解決に向けて 積極的に取り組ん でいる。	段階 人数 平 A 2 B 3 C D		早期発見、早期対応 を徹底し、外部の関係 機関とも連携を図りな がら対応を続けてい く。	段階 人数 平均 A 10 B 9 C D	・学校だよりから、いじめ問題を考える週間、いじめのない学校づくりの日等、課題解決に向け積極的に取り組んでいる。 ・職員連絡会やアンケート調査等の取組が行われており、良好と思われる。	
5	(3)	子供たちの安全 (登下校時、自然 災害時)について 細心の注意を払っ ている。	D		家庭・地域・関係機関と連携した交通事故防止や避難訓練の充実に努める。	A 10 B 9 C D	・学校要覧、学校だより から水難事故防止運動強 調月間、危険箇所調査等 の取組が伺える。	
6	(4)	教職員は、子供 と望ましい関係を 築いており、保護 者や地域との交流 が図られている。	A 2		日常的に児童理解に 努めている。保護者と も信頼関係を構築し、 地域行事等にも積極的 に参加する。	段階 人数 平均 A 10 B 8 C D	・学校運営協議会、学校 行事参観等から伺える。 ・ウミネコ留学制度を通 して、地域や子供たちと の関係が構築されてい	
7		学校は常に整 理整頓、清掃され、花や緑に囲 まれている。	D D	. 4	日常の清掃作業や職員 作業の他、長期休業を活 用した古い物や使ってい ない道具の大々的な片付 けを行っていく。	段階 人数 平均 A 11 B 7 C 0	いっぱい運動の活動から 伺える。	
8	(5)	学校の施設・ 設備は定期的に 点検され、安全 な状態が保たれ ている。	C 2 D	. 6	たくさんあるので、計 画的・迅速に対応を行 う。	A 7 B 10 C 1 D	・学校運営協議会から伺 える。 ・体育館の雨漏り	
9		子供たちの学 力や体力の実態 が保護者や地域 によく知らされ ている。	D	. 4	級PTA、学校運営協議会等で子供の学力と体力の実態について周知していく。	A 11 B 7 C D	・授業参観、学校だより、学校運営協議会から 伺える。 ・学校だよりからも周知 されている。	
10		保護者や地域 は学校の教育活 動に対して協 力・支援を行っ ている。	段階 人数 平 A 3 B 2 C D	. 6	保護者、地域は大変 協力的である。しか し、年々、人口が減少 傾向にあり、人員確保 が課題である。	段階 人数 平均 A 11 B 7 C 3.6	・学校だより、学校行事 等から伺える。	

学校関係者評価結果

<u>学校名</u> 鹿島小学校

										加州八八
釆早	事項	評価項目	学核	を教耶	銭員に	こよる自己評価(集約)	学校	と関係	《者評	価委員による評価(集約)
田力	尹"只		10.7.7.—	(22.1)	平均)	対策・改善点			[平均)	主な意見
11	(6)	小中一貫教育	段階	人数	平均		段階		平均	・学校だよりから伺え
		は、小中間の交流	Α			ための授業交流や交流	Α	7		る。
		活動等が効果的に	В	4	2. 8	活動を推進していく。	В	10	3. 3	
		行われ、成果が現 れている。	С	1	2. 0		С	1	0. 0	
			D				D			
12		薩摩川内元気	段階		平均				平均	・学校だより、薩摩川内
	(6)	塾は、子供たち	Α	3		らし、子供たちにとっ	Α	7		元気塾参観から伺える。
		に夢や元気を与 えている。	В	2	3. 6	て貴重な体験となり、 充実している。	В	10	3. 3	
			С				С	1		
			D				D			
13		英語の授業で	段階	人数	平均				平均	・授業参観、学校運営協
	, ,	は、子供も教師も	Α			かし、コミュニケー	Α	8		議会から伺える。
		笑顔でコミュニ	В	4		ション能力の基礎を育		11		・楽しい授業風景からも
		ケーション活動を 行い、英語力が身 に付いている。	С	1	2. 8	んでいきたい。	С		3. 4	児童とのコミュニケー ションが取れている。
			_				_			ションが取れている。
		(C1111.C1.20)	D				D			
		子供たちは、	段階	人数	平均	子供に、地域の一員	段階	人数	平均	学校運営協議会、学校
	(2)	学校や地域で進	Α	2		である自覚を高めさ		11		だよりのあいさつ運動活
14		んであいさつを	В	2	2 0	せ、より主体的に取り	В	7	Λ. Г	動から伺える。
		している。	С	1	3. Z	組ませていきたい。	С	1	3. 5	
		.	D	_			D	-		
15			段階	人数	平均		段階	人数	平均	
	(8)		Α				Α			
			В				В			
			С		#DIV/0!		С		#DIV/0!	
			D				D			
			ᄓ				U			

↑A=4点、B=3 点、C=2点、D= 1点として、学 校教職員の評価 を平均(小数第 1位まで) ↑A=4点、B=3点、 C=2点、D=1点とし て、学校関係者評 価委員の評価を平 均(小数第1位ま で)

<学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策>

- ・ 他校の評価がしずらいという意見があった。他の校区の委員さんにも学校の様子がしっかり と伝わるようにさらに情報発信していく。学校行事等の案内を送付し、鹿島を訪問していただ く機会を増やしていく。
- ・ 留学生が鹿島小の子供たちへ与えるよい影響を教育活動に生かし、子供たちの成長につなげていく。
- ・ 子供たちが地域の方たちにも進んであいさつをするように、機会あるごとに啓発を図る。大 人の方からもあいさつをしていただけるように地域にもお願いする。
- ・ 次年度も学校の教育や施設面の改善に向け、学校運営協議会を積極的に活用していきたい。